

第7回 札内川懇談会が開催されました



第7回 札内川懇談会の様子（帯広市内 とかち館にて）

第7回札内川懇談会が、平成27年3月2日（月）に開催されました。

札内川懇談会メンバー（敬称略）

氏名	所属等
石垣 章	十勝川の生態系再生実行委員会
石原 由美子	アトリエゆふ
鏡 坦	帯広ウチダザリガニ・マスターズ
関川 三男	帯広川伏古地区子どもの水辺協議会
高倉 裕一	川と河畔林を考える会
田代 茂樹	パラグライディング十勝
千嶋 淳	NPO法人 日本野鳥の会 十勝支部
千葉 利光	エールセンター十勝
藤田 勝彦	つながろう札内川水源地域の会
眞鍋 憲太郎	眞鍋庭園苗畑
三上 清志	つながろう札内川水源地域の会
柳川 久	帯広畜産大学
吉原 修	NPO法人 十勝多自然ネット
竹本 歳啓	帯広市都市建設部 管理課
村松 正仁	帯広市教育委員会 学校教育部
森 博文	帯広商工会議所 産業振興部
河村 伸二	幕別町企画室
川瀬 康彦	幕別町教育委員会 学校教育課
八代 芳雄	幕別町商工会 事務局
阿部 雅之	中札内村 総務課
高桑 浩	中札内村教育委員会
望月 真理	中札内村商工会 事務局
菅原 利博	十勝総合振興局 帯広建設管理部 事業室 治水課
武田 淳史	帯広開発建設部 治水課
横道 雅己	帯広開発建設部 帯広河川事務所
鈴木 康幸	帯広開発建設部 帯広河川事務所 札内川ダム管理支所

■懇談会での意見

<懇談会の経過報告と平成 26 年度の活動報告などを受けて>

- ・ 札内川は生態系の多様性が乏しいと思っていたが、実際に関わると結構楽しい川。印象が変わった。
- ・ 高校生が川とかかわる中で、川に対する認識が大きく変わっていくのがわかった。地域の川に関心を持ってくれる若い人材が、将来の担い手になることを確信した。
- ・ 小さな川フェスや懇談会活動での川カフェが良かった。行って、見て、感じる事が一番大事。
- ・ 中札内スポーツ少年団が川とかかわっていることが、将来良いこととなる。

<札内川の魅力情報発信（マップ）について>

- ・ サケ稚魚の放流などを具体的にに入れていけたらと思う。
- ・ 札内川以外にも魅力はある。アクセスできるようなフリーなシステムを構築できると良い。
- ・ 一般の方にはなかなか現地に行ってみる機会がないので、魅力情報マップは札内川を知っていただくツールとなる。写真・情報が充実すると良い。
- ・ 教育にも活用できると良い。札内川を愛してくれる人が育つと思う。

<ミズベリング（市民・企業・行政と一緒に水辺とのかかわりを発展させる施策）について>

- ・ 非常に興味を持った。
- ・ 比較的暖かい地域向けのものだと思う。北海道独特の水辺の利用を考えてほしい。十勝は広い河原の利用がポイント。
- ・ 京都では川に張り出す伝統的な利活用で商売ができています。十勝の伝統である川狩りを発展させたい。

<今後の懇談会、札内川の利活用などについて>

- ・ 十勝川水系で野生動物の研究を行っており、それを反映させたい。
- ・ いかに川を身近に考えることができるかが重要。今度札内川の河川敷に幼稚園の子供たちとバードハウスをかけに行くが、こういう活動も連携できればと考えている。
- ・ 十勝の大人が川遊びするのも重要かと思う。既存の地域イベントと連携するのが良い。
- ・ 札内川でカヌーを行うとすると、地元の間人はスラローム、フリースタイルであり、観光客はダウンリバーである。札内川でのダウンリバーは流量が少ないので困難。
- ・ 釣りについては、札内川はポイント間の距離が大きく、歩きづらい河原を移動しなければならない。また流れが速いのでルアーは難しい。
- ・ サイクリングは、コースは素晴らしいがルートを考えなければならない。上って下るのが基本。スポーツサイクリングは車で運ぶので駐車場の確保が必要。ファミリーサイクリングには距離がありすぎる。
- ・ 売買川などの支流や本流十勝川も含めて考えるのはどうか。他の河川にかかわる人にも来てもらって、外から見てもらうなど、もう少し広く関わりを持たせたいと思う。

■今後の予定について

- ・ 次世代への継承ということでの環境教育活動と、札内川の魅力 PR 活動の 2 つがメイン
- ・ ダム放流は 6 月。それに合わせて見学会と水生生物調査を実施
- ・ 河川清掃と水質調査に参加

【お問い合わせ先】

札内川懇談会事務局：帯広開発建設部 治水課 札内川懇談会担当まで

帯広市西4条南8丁目 TEL：0155-24-4105、FAX：0155-27-2377

～札内川懇談会は公開です。どなたでも傍聴していただくことができます～